

谷町六丁目駅(地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線)②

近松・西鶴墓所から空堀へ



「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.074

地下鉄谷町六丁目駅

①近松門左衛門の墓

近松門左衛門は江戸時代に活躍した人形浄瑠璃の作家で、『曾根崎心中』『心中天の網島』『女殺油地獄』といった世話もの、心中もので人気を博しました。井原西鶴や松尾芭蕉とともに「元禄期の3文人」と称されている。もともと当地に法妙寺があり、昭和42年(1967)の谷町筋拡張工事の際、寺は大東市に移転しましたが、境内にあった近松門左衛門の墓だけは国の史跡指定を受けており、現地保存が義務づけられていたため、当地に残されました。



②楠大明神

しめ縄が飾られた枯れた切り株がご神木です。かつて当地にあった「クスノキ寺」と呼ばれていた本照寺の境内に植えられていたものです。昭和12年(1937)の道路拡張工事のとき、寺は移転しましたが、巳さんが棲んでいるので伐ると祟りが起こると、道の真ん中にそのまま残されることになりました。

③井原西鶴・中井一族の墓(誓願寺)

井原西鶴は、寛永19年(1642)に大坂の商家に生まれ、元禄6年(1693)死去。談林派の俳人として活躍しました。生玉本覚寺で1600句、生玉本坊で4000句、住

吉大社で23500句もの独吟興行を行い、矢数俳諧の第一人者となりました。その後、浮世草子『好色一代男』を発表し、『日本永代蔵』『世間胸算用』などの町人ものでも数多くの傑作を残しました。また、江戸後期に大坂の商人たちが設立した学問所「懷徳堂」の創設や運営に尽力した。初代学主・齋庵や4代学主・竹山など中井一族30人の墓があります。



④熊野街道道標

熊野街道は、京都から船で淀川を下り、天満橋付近で陸に上が

り、そこを陸の起点として歩いて熊野三山を目指したルートです。ここを通って四天王寺、住吉大社へと進みます。

⑤空堀商店街

大正時代に地元の延命地蔵の縁日に夜店が出て、そのルート上に現在の商店街ができたといわれています。

⑥直木三十五記念館

記念館は、複合文化施設「萌」の2階にあります。大正末期から昭和初期に活躍した作家・直木三十五は、直木賞にその名を残しています。直木は5歳から19歳まで当地で過ごしました。この記念館は地元の有志が尽力し、直木賞作家らも呼びかけ人として参加し、市民の手で立ち上げられました。

地下鉄谷町六丁目駅

